

## 地域包括ケア専門職“絆”研修第10回 ①退院支援「病院から在宅へ」

〈日 時〉 令和7年7月13日(日)



### 8, スタッフの振り返り

#### 1. 良くできたと思うこと、このままやっっていこうと思うこと

##### 【ファシリテーター】

- ・なぜ？を掘り下げて参加者の思いを知ること。(西尾)
- ・初めての参加者への配慮はできたと思う。意見も皆様に言っていただけたので良かった。(三橋)
- ・GW②の役選びは退院前カンファ未経験の方から選んでいただいた。(三橋)
- ・今回初めての参加で良くできた事が思いつかない。しかし、何回も経験をしていきたいと思う。(辻)
- ・事前の打ち合わせで流れや内容をしっかりと把握できていたため、本番では緊張することなく過ごすことができている。自分が緊張してしまうと、参加者さんにその緊張が伝わってしまうため、リラックスして参加する事が大切だなと感じている。参加者の皆さんも楽しそうだったが、自分も楽しめました。(近藤高)

- ・全員が発言できるよう誘導できたと思う。(高橋)
- ・双方向性スキルを活かしていきたい。(高橋)
- ・ワークの進行状況を見ながら発言を促したり、視点を変えてみるような促しができた。(平井)
- ・ファシリ役割に徐々に慣れてきたため、ワーク中の声掛け等、参加者一人一人の表情や手の動きを確認しながら行うことができた。(松本)
- ・参加者の発言はたくさん出ていたと思う。参加者が主体であり、参加者目線で努めようと思った。気づきや学びが得られたかは不明。(坂尻)

### 【プレゼンター】

- ・GW や振り返り時に、各グループをまわりながら聞こえてきた意見を、後半のプレゼンに交えて話げできたので良かったと思う。(中瀬)
- ・研修ディレクターを交代して、スタッフの皆様の声や思いをうまく研修に反映して、実りある研修に繋げられるだろうかと心配していたが、研修終了後に受講生の充実した顔を拝見して安心した。これからもスタッフの皆様の意見を取り入れながら、ブラッシュアップチームで検討する良い流れができればいいなと思っている。(櫻井)

### 【パネリスト】

- ・グループワークで色々なグループをまわり話しを聞く機会となり参考になった。(山本)
- ・自分のパネリストとしての立ち位置が、今回のような感じで良かったかどうか評価していただいて次回以降につなげていただきたいと考える。(山本)
- ・打ち合わせの時に疑問点を解決しておく(岡本)

### 【ブラッシュアップ】

- ・ファシリ初経験者のグループは ファシリ2名体制で行うことは継続した方が良いと思う。(近藤雄)
- ・ファシリ・プレゼンの役割を担当しないことで、全体を俯瞰してみる経験ができたので、今後も全体を俯瞰してみる機会を持てたらと思う。(今回は八尾さんと自分だったので、次回は近藤さんが全体俯瞰してみたいと思う。今後回数を重ねて新しい流れが完成してくれば、櫻井先生が何も担当せず全体を俯瞰してみる研修があってもいいと思う。(曾田)
- ・時間は押し気味だったが、パネリストのコメントがあったことで退院時カンファレンスにおいてのリアリティーが感じられたと思う。自分たちの模擬カンファレンスについての振り返りもより具体的なものになったと思う。(八尾)
- ・話が止まった時には、率先して発言や、発言していない人に話をふること。(今回は必要なかった)(寺尾)

### 【事務局】

- ・新しい内容(地域共生社会等)にアップデートしたが、本研修の内容の流れに沿っていたかは検証が必要。時勢に沿った内容変更は毎回必要不可欠。研修の背景である在宅医療介護連携推進事業については、説明は必要。絆研修のメイン事項ではないので、深掘りしすぎず、かつ必要な内容を伝えな

ければならず、構成が難しい。このスライドのみでなく、事業背景や地域共生社会実現に向けた関係者向けの資料作成(紙ベース、動画等)は、絆参加者のみならず、すべての関係者向けとして必要と感じている。(橋本)

・打ち合わせ時に皆さんが活発に意見交換をしてくださったことは良かったと思う。回数を重ねるたびに一体感があり、毎回勉強させていただいている。(國本)

・スタッフ、受講生が揃って(連絡をしながらも)研修がスタートできたこと。(國本)

・当日飛びこみ参加があったが、他のスタッフの皆様のご協力で、スムーズにグループ割りが出来ていた。(國本)

・パネリスト方が、カンファレンスの現状を話してくださったことでより分かりやすかった。(田中)

## 2. 今後努力を要すること、やり方を変えてみようと思うこと

### 【ファシリテーター】

・時間管理(西尾)

・GW①「どのような事に配慮するか」の説明が不足していた。また「なぜその職種が必要か」深堀りできていなかった。(三橋)

・「ポストイット1枚に1職種」という説明のみをしたため、「家族」とまとめて記入される方があった。また、説明後にもポストイット1枚に複数記入されている方がおられたため、理由を追加説明した。説明の仕方に工夫が必要だったと反省する。(三橋)

・GW②役決めにかかった点。誕生月を上げてみたが、該当者がなかなか出ず、時間を要してしまった。別の決め方を検討したい。(三橋)

・GW②カンファレンスの振り返りの際、時間が不足し、お一人ご意見をうかがう事ができなかった。(一人の発表時間をお伝えしていなかったため、時間管理がうまくできなかった。)全員に意見が聞けるよう、必ず最初に発表時間をお伝えする。(三橋)

・ファシリテーターとしての役割の想像があまりできていなかったため、時間管理ができていなかった。また発表者の決め方も時間がかからないような方法を考える必要がある。(辻)

・今回サブのファシリで入ったが、研修開始前にメインとサブの立ち回り等についてもっと話し合っておけば良かったと思った。役割がはっきりしていなかったため、グループワーク中の説明がワンテンポ遅れる事があった。(近藤高)

・発言を遮らないように、会話を途切れさせないようにしっかりと空気を読んでいきたい。(高橋)

・役決めの際は積極的な人にばかり負担がいかないように誘導できたらと思う。(高橋)

・発表者や司会者決めなど、手が上がりにくいようなことを決める時に時間がかからないように、スムーズに決まるようにしたい。(平井)

・ファシリとしてはあまり機能していなかったのではないかと感じた。参加者の方にたくさん話してもらいたい思いがあり、課題に対して目的を理解してもらって進行することがあまりできていないように感じる部分があった。内容が深堀できるよう、参加者の意見の背景や考え方が理解できるようにしたいと思った。(坂尻)

### 【プレゼンター】

- ・プレゼンに関して、普段メインで触れている領域ではなかったため、うまく自分の言葉として落とし込んだ説明が難しかった。(中嶋)
- ・GW後の発表で質問が2つあり、分けて聞くつもりであったが、当日うっかりしてしまい声掛けがしづかりできなかった。準備していたつもりでも当日緊張や時間に追われる感じで抜けてしまうことがあるので、忘れずにやりたいことは自分の資料にメモを分かり易く貼るなどもう少し工夫をして臨めばよかった。(中瀬)

### 【パネリスト】

- ・ブラッシュアップチームでパネリストに求める内容等を明確にさせていただくとありがたい。協会員に周知するにも具体的な役割が分かった方がしやすいように考える。(山本)
- ・求められる役割をきちんと理解し、よりその場に適した発言をすることができればよかったと思う。(岡本)

### 【ブラッシュアップ】

- ・見学→模倣→実施 の段階が踏んでファシリの育成につながるよう、ファシリ2名体制で行う場合、ファシリ経験者がワーク①、ファシリ初経験者がワーク② 担当してはどうか？(近藤雄)
- ・グループワークのゴールの確認・共有後(プレゼンター・ファシリより)、グループワークの時間管理を①発散 → ②収束 → ③発表準備 をファシリが設定し、参加者に意識していただかないとワークが時間内に終わらない。(近藤雄)
- ・ファシリの担当じゃないと、グループワーク内容を聞き取ることが難しかったです。周りからグループワークの邪魔をせずに情報収集するいい方法を検討する必要がある。(曾田)
- ・模擬カンファレンスの役を選ぶとき簡単であろうと思う役を選び勝ちで、言葉も少なめな参加者もいたが、どの役もとても大切な役としてグループワーク①で話し合ったと考えます。役になりきる際なぜその役を選んだか、何を伝えようと考えたかという問いをファシリから伝えてもらうと、役に入りやすく、発言も活発になるのかもしれないと思った。(八尾)
- ・話の方向性の偏りに気づいた時は、早期に発言して介入しようと思う。(寺岡)

### 【事務局】

- ・プレゼンターの負担軽減のためにも、ピンマイクが使用できるようにしたい。(橋本)
- ・パネリストを採用するにあたり、内容を事前に詰めていなかった為、パネリスト、プレゼンターの方に負担をかけてしまった。皆さんが積極的に議論してくださって、当日は居て下さって本当に良かったと思った。次回以降は依頼するまでに、具体的な内容をある程度提示できるように準備する必要がある。(國本)
- ・体制が新しくなったことで、進行やまとめなど上手く立ち回れず、スタッフの皆様にご迷惑をおかけしたこと。改善していきます。(國本)
- ・今回はスタッフが多かったため、当日の駐車場(看護学校)がいっぱいになってしまっていたことに

気づいていなかった。次回以降配慮します。(國本)

・ブラッシュアップチームで議論を重ねているからこそ、欲が出て多少の内容の変更や、パネリストの採用を行ったが、全体のタイムスケジュールを触っていなかった。プレゼンターの方の時間管理に負担をかけてしまった。(國本)

・本番のカンファレンスで、利用者にとって必要な職種の認識を持つための大事な GW1 かもしれないが、「誰が参加するとよいか」の問いに費やす時間は、GW への参加者皆さんは専門家で、同じ職種(本人・妻・家族・医師・看護師・介護士・SW など)を提示されるので、予め重なりそうな職種をリストアップしたものを配布しておき、そのリストにない職種を追加していただくようにしたら時間短縮につながるのになあと思った。押され気味な時間配分の中で、他のお題に時間が回せれるかなと思った。(矢部)

### 3. 研修参加者にとってよかったと感じたこと

・他の職種を経験することで、職種の専門性に気づけたこと。(西尾)

・みなさんが楽しそうに参加をしておられた。(三橋)

・休憩時間にお話されていた方もあり(初めてお会いされた方々のようでした。)交流が図れていて良かった。(三橋)

・多職種連携・協働について学べた。(重点的にはしゃべったので、伝わっているといいな)(中嶋)

・実際に現場についてリアルを語っていただくパネリストを今回加えたことは、とても良かったと思う。(中嶋)

・ファシリテーターの存在は大きい。養成、フォローアップ研修の中に、絆研修に特化した内容を含ませてもいいのではないかな。(橋本)

・経験のしたことがない職種の体験をされて、自分と違う職種のことも少し理解できたのではないかなと思う。(辻)

・地域共生社会のパンフレット配布 ・パネリストの意見が聞けたこと。(近藤雄)

・皆さんが楽しそうにディスカッションできていたと思う。今回のグループは皆さんが活発に意見を述べておられ、発言者が偏ることもなかったと思う。(近藤高)

・いつもと違う職種を考えることで、他の職種の役割や視点の理解し、改めて他の職種の大変さも認識できたことで日頃から連携することの大切さを知っていくことができていた。(高橋)

・日頃は情報を受けとる側で、今回、発信する立場の難しさを学んでおられた。(高橋)

・普段関わりのない職種と知り合うことができる機会だった。(高橋)

・役になりきって楽しんでおられた。(高橋)

・初めて参加された方もおられたようで、何年たっても顔の見える関係つくりの場として絆研修の位置づけはあると思う。今回はカンファレンスを体験し多職種への理解や家族への配慮等学ぶことも多かったと思う。(山本)

・MSW の方や薬剤師の中嶋さんが実体験から話しをしてくれる場面があり、参加者には貴重な機会になったのではと思う。(曾田)

- ・真剣にディスカッションされていてよかった。そうなるようにファシリの方が工夫されていたと思う。(中瀬)
- 普段とは違う職種になりきってカンファレンスに参加したことで、視点や価値観の違いが体験できたと思う。(平井)
- ・退院前カンファレンスの目的や参加する上でのポイントを学ぶことができる。(岡本)
- ・他職種の考え方や感じ方にふれることができる。(岡本)
- ・参加してみてよかったと、直接事務局にも行ってくださる参加者が多かったこと。(國本)
- ・次回もまた参加しようと思うという方も多かった。(國本)
- ・ファシリの皆様がグループワークをよく理解して、適切な介入をしてくださっていたこと(櫻井)
- ・パネリストがいたことに関しては、参加者にとってとても参考になったと思う。同じ職場でない多職種が一堂に集まり、意見を言う研修は少ないと思う。職種間の専門性と利用者を見る視点の違いを理解することで、お互いの大切さがわかりあえる機会だと感じられた時間だったと思う。(八尾)
- ・グループごとにファシリが配置されていることで、グループワークがスムーズに行えた。(研修生だけだと、まごついてしまうこともあるが円滑に進むように助言をしてくれる)(田中)
- ・他の職種の方と交流できたこと。(川上)
- ・研修参加者はグループの雰囲気はよく、否定的でなく、安心して意見を表出できていたと感じた。研修全体の進行はスムーズで、グループワークの課題も難しくなく、参加者としてはよかったと思う。グループワークがオンラインでなく参加できてよかったという意見もあった。(坂尻)
- ・他職種の体験が聞けたこと。(寺岡)

#### 4. 研修参加者にとって良くなかったと感じたこと

- ・退院前カンファレンスを設定するにあたって、『なぜ、その職種を呼ぶのか？』の深掘があっても良かったのではないかと思う。(中嶋)
- ・他のグループより笑顔が見られなかった。ファシリの不足かと思う。(西尾)
- ・内容と研修時間のバランスが難しい。(半日の妥当性、3回シリーズ?)(橋本)
- ・グループワークで話し合ったことを発表できませんでした。発表者に声掛けをすればよかった。(辻)
- ・発表者が発表内容をまとめるために意識が向きすぎて、他のグループ発表に耳を傾けていない況が目立っていた。(ワークを止めて発表を聴きましょう とアナウンスを)(近藤雄)
- ・話し声が小さい方のフォローをどうするか。(近藤雄)
- ・自分が担当したグループが一度も発表機会がなかったこと。(近藤雄)
- ・皆さんが退院前カンファや担当者会議に慣れておられる様子で、流れを知っているが故に新鮮味に欠けていたところはあるかと思う。(近藤高)
- ・盛り上がってざわざわしている中、声の小さい人の発言は聞きとりにくく、身を乗りだして聞く姿が頻回にみられた。(高橋)
- ・アイスブレイクではほとんどの人が 30 秒では間に合わなかった。(1人しか上手にまとめきれなかった。)(高橋)
- ・時間がタイトだと感じた。グループワークなどにもう少し時間が取れるような配分で考えても良いか

もしれないと感じた。(山本)

・スタッフ数が多く、グループワークの場面など周囲を移動するスタッフが多かったのは気になった。参加者が気にしなければ問題ないですが。(曾田)

・もう少しグループワークの時間を確保できたらよかったと思う。(曾田)

・グループによってはグループワーク①で話が出た参加者ではなく、準備してあったカードの職種の中から決めていたところがあったため、グループワーク①が活かされていないのではないかと感じた。グループワークで出た職種でカンファレンスを行うことで例えば「うまくいかなかったのはなぜか」というのも振り返りで意見交換ができると本当のカンファレンスのときに利用者にとって必要な職種が認識出来てくるのかもしれない。(八尾)

・グループワークで発言中、スタッフの方が近づいて来られると緊張してしまいます…(田中)

・グループワークの時間が短かったように感じた。もう少し病院から自宅への移行に関して、各専門職の必要性や具体的な連携や役割まで話すことができなかった。(坂尻)

・経験豊富な人が多かったため、みんなで深く考えることなく話が進行してしまったこと。(寺岡)

・ワーク②でグループの人数分、順番に役割カードを取ったら、Dr、Ptが選ばれず残ってしまった。すべて看護師が説明をすることになってしまった。(川上)

## 5. 研修までの準備に関する感想

・ファシリテーションガイドはとても参考になった。(西尾)

・入念な準備が行われていることが、10年継続している素晴らしい研修に繋がるのだと毎回参加するたびに感じる。毎回、皆様の意見や質問や気づきが素晴らしくて、準備段階も大変勉強になる。ありがとうございます。(三橋)

・日々のなかで、なかなか練習の時間が確保できなかったのが反省点。そのような中でもたくさんの方が様々なアドバイスをしてくださり心強かった。(中嶋)

・研修内容の確定(基本変更なしであったが)とブラッシュアップの始動が重なり、スタッフの思惑が交錯してしまった。ディスコードの使用法など、ブラッシュアップチームの運営もブラッシュアップしながらですね。(橋本)

・自分自身が準備できていなかった。(辻)

・模擬グループワークを行う機会は今後あっても良いか(ファシリ初経験者のために)(近藤雄)

・毎回感じるのですが、プレゼンターの方々が本番までに発表内容を仕上げられるのが素晴らしいと思う。(近藤高)

・流れを確認するので精一杯で事前打ち合わせで何も発言できず申し訳ない気持ち。運営の皆さんのご尽力は本当にすごいと思います。(高橋)

・いつも、準備段階から皆さんが一生懸命されているので素晴らしいと思います。(山本)

・橋本さんのスライドやMSWの方をどのように参加してもらうかなど、新しい取り組みの部分が多かったため、去年までと比べて少し慌しい感じがしました。試行錯誤を重ねることで改善すると思っています。(曾田)

・打ち合わせの回数やプレゼンの練習もしっかりとっていただけたので、気になる点は解消でき当日

に望めたのでありがたかった。すぐに議事録等おくっていただき確認ができよかった。(中瀬)  
準備の段階で変更になったことをすぐに議事録としてまとめていただいていたのでありがたかった。  
(平井)

・ファシリが初めての方もおられたのでグループワークの進め方や注意点などをまとめたものが事前に準備してもらえていたのでわかりやすかったと思います。(平井)

・打ち合わせが間をあけずに複数回あったので、本番へ向けての微調整ができた。(岡本)

・打ち合わせ時間の変更は厳しいと思われるが、夜遅い時間帯は体力的に厳しいかもしれない。(岡本)

・関わっている皆が研修をより良いものにしようと熱心に議論してくださっている様に感激した。(櫻井)

・打ち合わせから皆さんが参加してくださりありがたいと思った。初めてのファシリテーターからの発言・質問が少なかったように思う。(八尾)

・プレゼンの方が本番に合わせてバッチリ調整されてきたのがさすが。(田中)

・準備は充分すぎるくらいしっかりとされていたと感じた。(坂尻)

・細かな配慮が有り、大変参加しやすかった。(寺岡)

## **6. 全体的な感想・意見**

・研修が始まってすぐプレゼンがあるが、参加者も緊張している中でプレゼンターの方も構えてしまわないか。アイスブレイクや研修担当者の紹介を冒頭に行ってみてもいいのではないか。(西尾)

・今回も参加させていただき、ありがとうございました。毎回プレゼンターの方はきっちり仕上げてこられ、本当に努力をされて本番を迎えておられるのだと頭が下がる。私も以前1度だけさせていただいた。大変自分自身の勉強になりました。機会があれば、またチャレンジしてみたい。(その時はプレゼン参加のところにも〇をつけます！)(三橋)

・絆研修 10 年目おめでとうございます。素晴らしい歴史の 1 ページに立ち会うことが出来て私も光栄です。今回初めてプレゼンターを務めさせていただいたが、毎シリーズごとに皆さんがとても努力されて本番に臨んでいることを身をもって学んだ。今後、機会があればもっと上手にプレゼンできるよう今回の経験を活かしていきたい。また、今回初めて薬学実習生を参加させてみたが、彼女にとってもとても良い経験になったようです。今後も機会をいただけるなら、教育者の立場としてもこのような素晴らしい研修会に学生を参加させ、地域医療に貢献していく薬剤師の育成をしていければと思う。(中嶋)

・10年ひと昔と言うが、10年前と現在の「初学者」の意識やレベル、地域の雰囲気に変化していると感じている。多職種連携や多職種研修があたりまえになってきているのか。地域のレベルも上がっている。10年前当初からのメンバーのふるまい、言動等、見違えるような向上を感じている。このような現状での、絆研修ブラッシュアップに期待とともに、2世代目の(変更に対する)難しさも感じています。事務局側も(地域に置いていかれないよう)個々のレベルアップの必要性を感じている。事務局(とうぶざいたく)の職員も変化しつつ、様々な経験や知見がもたらされており、現場サイドに負けないうよう向上していかなければと思っている。(橋本)

- ・研修の参加者も多く、いろんな意見が出て自分もいい学びになった。ファシリテーターとして、時間管理を意識付けグループの方が話し合える時間を増やせるようにしていきたいと思う。一つ提案でグループに人数が5~6人の方が、まとめる時間が長くなり、より深くできるように思う。(辻)
- ・新たなチャレンジもあった研修だからこそ、課題も把握できた。ブラッシュアップチームでしっかり練っていきましょう！ ありがとうございます。(近藤雄)
- ・タイムスケジュールでは、足立先生の開会挨拶から地域包括についてのプレゼンの時間になっており、櫻井先生のお話しされる時間がなかった。そのためその分の時間がずれこんでいた。中嶋さんが発表時間を短縮され、休憩時間までに元の予定時間に戻せていた。今回の研修の MVP は中嶋さんかと思います。(近藤高)
- ・研修終了後の振り返りで近藤雄政さんが言うておられたが、初参加のファシリテーターの方がおられる場合、グループワーク1をサブのファシリが進行、グループワーク2でメインのファシリが進行。にしても良いのかなと思った。または、3回目の打ち合わせの日は、新規ファシリの方とサブのファシリのみは別枠で打ち合わせをするのはどうかと思った。(近藤高)
- ・和やかに会がすすんだなと感じた。名前は覚えていなくても“見たことある人だな”“あの人どっかで会ったことがあるな”と、そういう小さなところから繋がりが広がっていく良い機会だなと感じた。(高橋)
- ・自分自身のスキルアップに繋がっているため勉強になっている。(高橋)
- ・病院関係者以外の方の参加が増えたらいいなと思います。(高橋)
- ・内容について、ブラッシュアップチームでも検討されているので、今後は内容に期待しつつ、参加させていただきたいと思う。(山本)
- ・新しい取り組みもあり打ち合わせから積極的な意見交換ができていたのが印象的だった。今回の反省を活かして研修の構成などを修正していくことで、来年の研修に繋がるイメージが持てた。(曾田)
- ・全体発表の時の発表者はなかなか決まらなくて大変だとは思いますが、グループワーク①と②では違う発表者にするよう発表者決めをする際にファシリから声掛けがあるといい。せっかくの機会なので、なるべく違う方に発表の機会を持っていただけたらいいと思う(同じ方が手を挙げられた場合、他に手が挙がってなかったらその方にあてることになるため)(中瀬)
- ・パネリストの参加も今回あったので、時間設定をいつも通りではなく調整してもらった方がもう少しゆとりある話の振り方ができたと思う。パネリストへの話の振り方をもう少し工夫すればよかったと反省している。(中瀬)
- ・スライドの分量と説明の時間設定がタイトに感じる。時間がこのままであれば、内容が重複する所を見直してスライドの枚数を減らすなど検討いただけたらありがたい。グループワーク②の時間設定が、全体発表までに48分とってあるが、スライド61、62、63を説明する時間は入っていないのでそこですでに時間がおしてしまう。プラス3~5分程は時間を確保したタイムスケジュールが良いと思う。(中瀬)
- ・パネリストの意見が加わったことで現場での生の意見が参加者にも伝わってよかったと思う。(平井)
- ・参加者もスタッフも積極的な発言が多くみられ、活気のある研修だった。(岡本)

- ・きちんと発言者の言葉を最後まで聞く姿勢がスタッフ、参加者共にあるような場を感じられた。(岡本)
- ・グループワークや発表が苦手な方もあるので、口頭での発表以外の全体共有の方法等も検討できればよいかもしれない。(岡本)
- ・いつもながらスタッフの熱意と主体的な関わりに感激した。会場全体が温かい雰囲気に入れられ、笑顔が見られたことが良かった。この場が顔の見える関係作りの場としてあり続けることの価値を感じた。(櫻井)
- ・今回のパネリストの参加はとても良かったと思う。もう少し話を聴きたいとも思った。時間の調整が必要であれば、延長してもよいのではないかと考えた。(八尾)
- ・参加者・プレゼンター・スタッフ、この研修に関わったすべての方が、多職種連携によって地域の医療・介護をより良くしていきたいという想いが伝わってきた。そういう方が参加しておられるのですが…。これまで参加したことが無い方にも、もっと来ていただきたいと思った。(田中)
- ・グループワークの時間がもう少し増やすことができれば、多職種と意見交換や交流ができたのではないかと思います。休憩時間も少し増えれば交流ができたのではと感じた。(坂尻)
- ・パネリストの専門的な話が聞けて良かった。(寺岡)
- ・3人掛けの机は少々キツかった。反対に、机の並べ方はあれがベストだとは思いますが、とにかく声が聴きづらい！ので何か良い方法があればなあと思う。(矢部)